

予算決算委員会民生教育分科会会議録

招 集

令和4年3月24日（木）議場

出席委員（8名）

（分科会長）矢田貝 香 織 （副分科会長）伊 藤 ひろえ
石 橋 佳 枝 門 脇 一 男 土 光 均 戸 田 隆 次
前 原 茂 森 谷 司

欠席委員（0名）

説明のため出席した者

伊澤副市長

浦林教育長

【福祉保健部】大橋部長兼福祉政策課長

〔福祉課〕橋尾課長 長尾課長補佐兼保護第二担当課長補佐

〔障がい者支援課〕塚田次長兼課長 田村課長補佐兼計画支援担当課長補佐

【こども総本部】景山部長

〔こども政策課〕東森課長補佐（教育委員会事務局こども政策課長補佐兼学校政策
担当課長補佐）

〔こども施設課〕斎木課長（教育委員会事務局こども施設課長）

【教育委員会事務局】松田局長兼こども政策課長

〔こども施設課〕井上学校施設担当課長補佐

出席した事務局職員

松下局長 土井次長 安東議事調査担当係長

傍 聴 者

安達議員 岡村議員 奥岩議員 遠藤議員 国頭議員 中田議員 又野議員

矢倉議員

報道関係者0人 一般2人

審査事件

議案第44号 令和3年度米子市一般会計補正予算（補正第16回）のうち当分科会
所管部分

~~~~~

### 午後1時4分 開会

○矢田貝分科会長 予算決算委員会民生教育分科会を開会いたします。

先ほどの本会議で予算決算委員会に付託された議案のうち、当分科会の審査担当とされ

ました議案1件について審査いたします。

議案第44号、令和3年度米子市一般会計補正予算（補正第16回）のうち、福祉保健部所管部分についてを議題といたします。

当局の説明を求めます。

橋尾福祉課長。

**○橋尾福祉課長** 議案第44号、令和3年度米子市一般会計補正予算（補正第16回）のうち福祉保健部が所管する部分につきまして、歳出予算の概要等を御説明いたします。まず、予算説明資料歳出予算の事業の概要の1ページをお開きください。原油価格高騰に伴う生活支援事業についてですが、1,904万8,000円を増額しております。これは、原油価格高騰による灯油等、石油製品の価格上昇に伴い家庭への影響を受けている一定基準の世帯の負担軽減を図るため灯油などの購入に係る金銭的給付を実施するための経費でございます。昨年12月に1度実施をしておりますが、昨今の世界情勢による原油価格等の影響等を踏まえ緊急的に第2回を実施するものでございます。内容的には1回目と同様でございますが、給付対象世帯は在宅の生活保護世帯等で給付額は1世帯当たり5,000円とし、現金で給付いたします。給付の時期は年度内に実施することとしております。

続きまして、令和3年度米子市補正予算書の9ページをお開きください。繰越明許費に関する調書（補正第4回）でございます。③民生費のうち、1、社会福祉費の障がい者福祉施設整備費補助事業費について、250万6,000円を計上しております。これは年度内の事業完了が見込めないため、繰越をお願いするものでございます。令和3年度米子市一般会計補正予算（補正第16回）の説明につきましては以上でございます。

**○矢田貝分科会長** 当局の説明は終わりました。

委員の皆様からの御意見等を求めます。

土光委員。

**○土光委員** 原油価格高騰に伴う生活支援事業に関してお聞きします。財源と県支出金ということになっています。これは県がそういった政策というか出して、それを受けて米子市が実施するものという理解でよろしいでしょうか。

**○矢田貝分科会長** 橋尾福祉課長。

**○橋尾福祉課長** 委員のおっしゃるとおりでございます。

**○矢田貝分科会長** 土光委員。

**○土光委員** 説明で今回2回目だということですが、1回目も基本的に同じ財源、趣旨で行われた。金額も5,000円だったということでしょうか。

**○矢田貝分科会長** 橋尾福祉課長。

**○橋尾福祉課長** そのとおりでございます。

**○矢田貝分科会長** 土光委員。

**○土光委員** 以上です。

**○矢田貝分科会長** ほかにございますか。

戸田委員。

**○戸田委員** 先ほど土光委員さんとかぶる面があるんですけど、県の支出金は940万5,000円ということでありますので、一般財源964万3,000円の負担ということで、1,904万8,000円ということなんですけども。そこで今の1世帯当たり5,000円という説明があったんですが、今回の補正予算を組むに当たって原油価格がどれだけ上がったというような本市の考え方というのはどのように定めておられるんですか。

**○矢田貝分科会長** 橋尾福祉課長。

**○橋尾福祉課長** 原油価格等につきましての金額については、ちょっと今回は把握をしておりません。緊急的なこともあったということで、県のほうの補助の上限の5,000円を基準といたして決定いたしました。以上でございます。

**○矢田貝分科会長** 戸田委員。

**○戸田委員** 副市長ね、もろもろこういう補助事業出てくるんですよ。それである程度、いくら原油価格が上がったからこういうボーダーラインがあって、それで本市としても対応せないけんという考え方があっていいと思うんですよ。例を言えば、先般も予算決算委員会で話したんですが、今の米価の下落支援事業についてもそういうふうな考え方がなかなか不明朗であったと、私そういうふうに理解しておるんですけど、私この事業については了とするんですけど、やはりいろんな市民にとってそういうふうな事業を展開されてきておられるんですけども、補助についてやっぱり今県の補助金が入ってきたから、そのままスライドで上乗せでやるというようなことで、市民に理解得られるんでしょうかね。やはり原油価格が今1万円であって、5,000円上がって在宅の生活保護受給者に対して困窮する度合いがかいま見えるので、市として今の手を差し伸べていくというような暖かい支援だというような説明がないと、私はなかなか市民の方々に賛同していただけないというふうに思いますよ。その辺はどうなんですか。

**○矢田貝分科会長** 伊澤副市長。

**○伊澤副市長** 委員の御指摘はごもっとだと私も思います。担当課長も先ほど御説明いたしました。少し時がなくて急いだ部分があります。今回は県のほうが2回目の給付ということでできれば早急に5,000円という限られた金額ではありますけども、これを給付する制度を設けたので、是非活用していただきたいということがあって、委員さんがおっしゃるように市としてどこまで本当に必要なのか、つまり5,000円ではひよっとしたら足りないかもしれませんので、そういった分析を本来すべきではありまじょうけども、ひとまずと言っては言葉がよくないのかもしれませんが、県の財源を活用して支給できるものを取り急ぎ支給させていただくということをしていただいたということだと思っております。ただ、委員さん御指摘のとおり、本当に物価高騰、まだまだ残念ながら落ち着くどころかさらに上がるんじゃないかという状況でありますので、そういったものを引き続きしっかり家計の状況等も見て、本当に必要なものであれば今回のことを、これで最後ということにはならないと思いますので、当然国や県に働きかけて財源措置をお願いする

部分も含め、市として必要な施策を考えていくということなろうかと思えます。その過程において、今委員がおっしゃったようなことを肝に据えながら取り組んでまいりたいと思えます。

**○矢田貝分科会長** 戸田委員。

**○戸田委員** やっぱりそういうふうな市場調査というのをいつでもしておかないと私は駄目だと思うんですよ。

もう一つ、今の繰越明許の中で資材の納入が遅延をしたという説明なんですけれども、どのような資材が遅延されたんですか。その辺を調査されてますか。

**○矢田貝分科会長** 塚田福祉保健部次長。

**○塚田福祉保健部次長兼障がい者支援課長** この度、新型コロナウイルスの影響もございまして、この施設が木材を多く使っておられる計画を立てておられましたので、木材の供給不足、また高騰ということで聞いております。

**○矢田貝分科会長** 戸田委員。

**○戸田委員** 障がい者の福祉施設整備費補助事業とかなかよし学級とか、やはり市民が今求めておる大きな大切な事業だと私は認識しておるんです。そういう中でただ単に次長がおっしゃったように聞いておりますということではなくて、出向かれて実際にどういうふうな事業展開されて、どういうふうな資材が遅れておるのかと。その資材の遅れがあるのであれば何とかそういうふうなすべを講じて竣工に間に合うような工夫はされませんかというようなそういう調整があってもいいと思うんですよ。私たちはそれやりよったんです。現地に出向いて、何が遅れておる、H形鋼が遅れとるようならH形鋼遅れとるようでその資材を投入するような得るような方法を考えたりしておったんですけど、何か私見まして、コロナ禍において資材の納入が遅れたってよく説明があるんですけど、裏では本当にそれだけ努力されておられるかっていうことを私は思うわけなんですよね。やっぱり今求めれておる、そういうなかよし学級のそういう施策っていうのを。やっぱりそういうふうなところも一つもう少し、言葉は適切かどうか、まあ汗を流されるというか、私はそういうふうな姿勢があってもいいと思うんです。これは要望にしておきます。終わります。

**○矢田貝分科会長** ほかにいかがでしょうか。

ないようですので、本件については終了いたします。

予算決算委員会民生教育分科会を暫時休憩いたします。

**午後1時13分 休憩**

**午後1時15分 再開**

**○矢田貝分科会長** 予算決算委員会民生教育分科会を再開いたします。

議案第44号、令和3年度米子市一般会計補正予算（補正第16回）のうち、こども総本部所管部分及び議案第44号、令和3年度米子市一般会計補正予算（補正第16回）のうち、教育委員会所管部分については、関連していますので一括して議題といたします。

当局の説明を求めます。

東森こども政策課長補佐。

**○東森こども政策課長補佐（教育委員会事務局こども政策課長補佐兼学校政策担当課長補佐）** 議案第44号、令和3年度米子市一般会計補正予算（補正第16回）のうち、こども総本部及び教育委員会所管部分につきまして、内容が関連しておりますことから、一括して御説明申し上げます。補正予算書の4ページを御覧ください。

繰越明許費の補正でございまして、まずこども総本部所管の3款、民生費、なかよし学級施設整備事業費につきまして、1,010万円、次にその下の段、教育委員会所管の10款、教育費、啓成小学校校舎等整備事業費につきまして、5,850万円を計上しております。この度、繰越を行います事業は啓成小学校ふれあい棟新築ほか建築主体工事という同一の契約の下で行う啓成小学校のふれあい棟の建設、なかよし学級の整備、そして既存体育館の屋根改修等を合わせて行うものでございます。

ふれあい棟となかよし学級につきましては、予定通りの進捗を見ているところでございますが、体育館の屋根改修工事につきまして、新型コロナウイルス感染症による物流の影響によりまして、当初使用を想定しておりました屋根材が入手できなくなりまして、代替品の確保に時間を要しましたために今年見込んでおりました工事進捗率を達成できないことが判明いたしました。そこで未達成分の工事費を翌年度に繰越すものでございます。なお、体育館の改修は、校舎の建設に影響しない工程、工期の設定になっておりますことから本年8月末の全体の竣工予定の影響はないものと見込んでおります。説明は以上でございます。

**○矢田貝分科会長** 当局の説明は終わりました。

委員の皆様からの御意見等を求めます。

戸田委員。

**○戸田委員** 先ほども同じように障がい者支援課の資材の遅れということでお話をさせていただいたんですが、これは要因が私たちの経験でいけば2つあってね、資材の本当の遅れ、それと今の資材の高騰でなかなか入らないという2つの要因があるんですよ。これはどちらなんですか。松田さん。

**○矢田貝分科会長** 斎木こども施設課長。

**○斎木こども施設課長** 資材の遅れの原因でございまして、両方でございまして。あわせて代替品のほうを購入しまして施工のほうを準備をしているところでございます。以上です。

**○矢田貝分科会長** 戸田委員。

**○戸田委員** 資材の高騰は、いくらくらい高騰しとるかっていうのは、これは把握しておられるんですか。

**○矢田貝分科会長** 斎木こども施設課長。

**○斎木こども施設課長** すみません。今手元に資料はございません。

**○矢田貝分科会長** 戸田委員。

**○戸田委員** 私が申し上げたいのは、資材のいわゆる納入の遅れっていうのは理解できる

んです。もう一つは、市場、私聞いてみますとね、土木の現場もいろいろと、資材の高騰して上がって2割、3割。それでなかなかこちらにも入ってこないということでよく聞きます。私が心配しますのは、今補正で出されておられるんですけども、資材の高騰ってということになるとどれくらい上がってくるかっていうのは今から把握しておかないと、変更契約に及ぶ可能性があるんですよ。また補正が済んで、また次の補正が出てきて変更契約だということになれば、これは致し方がないかなという部分もあるんですけど、私が申し上げたいのは今の時点で、本当に2割、3割、部材が上がっておるかどうかというようなこともやはりきちっと把握をされて、説明責任を果たすべきだと私思うんですよ。そういうようなところがあって、手持ちに今ないからというお話ですけども、またでいいですので、資料提供していただいて、その辺のところも十分に今後加味した上での対応をしていかなければならないということを私は理解しておるんですけど、いかがですか。

**○矢田貝分科会長** 斎木こども施設課長。

**○斎木こども施設課長** 物価スライドの関係でございまして、ただいま業者のほう等からの物価スライドの精査をしている最中でございまして、いずれ委員おっしゃいますとおり、契約の変更等生じる可能性があるかと認識しております。資料が整い次第、御報告させていただきたいと考えております。以上です。

**○矢田貝分科会長** 戸田委員。

**○戸田委員** 先ほど要望しましたけども、今般の説明の中にも2通りのそういうような要因が実はあるんですということを説明されといたほうが私はベターではないかなと思いますので、これは指摘ではありませんけども、資料の提供については要望しておきたいと思えます。以上で終わります。

**○矢田貝分科会長** ほかにいかがでしょうか。

ないようですので、本件については終了いたします。

予算決算委員会民生教育分科会を暫時休憩いたします。

**午後1時20分 休憩**

**午後1時21分 再開**

**○矢田貝分科会長** 予算決算委員会、民生教育分科会を再開いたします。

予算にかかる分科会長報告のための意見の取りまとめを行います。

御意見がございましたら、発言をお願いいたします。

〔「なし」と声あり〕

**○矢田貝分科会長** それでは、特になかった旨報告させていただきます。

以上で、予算決算委員会民生教育分科会を閉会いたします。

**午後1時21分 閉会**

米子市議会委員会条例第29条第1項の規定により署名する。

予算決算委員会民生教育分科会長 矢田貝 香 織